

道徳の時間の指導を意図的に行う。

- (5) 団体の成員相互が認め合い支え合う雰囲気
を醸成するため、仲間づくりの場を設定する。
- (6) 編成されたグループの中で、自己を主張し
班の全員に反映させることができるよう、班
員の親睦に努める。

以上のように、清掃活動という集団活動を通し
て、個と集団とのかかわりから人間関係を深め、
集団としての正しい秩序を育てることなど、連帯
感を育成するという方向を目指し指導にあたらな
ければならないということになった。

3. 実践の内容

清掃に対する児童の意識を把握し、問題点を浮
きぼりにするため、アンケートを実施した。

(1) 清掃についての調査

(問1) あなたは、清掃が楽しいと思いますか。
つらいと思いますか。

- | | |
|-------------|-----|
| ア 楽しい | 6% |
| イ どちらとも思わない | 85% |
| ウ つらい | 9% |

(問2) あなたは、清掃をした後、どんな気持
ちになりますか。

- | | |
|-------------------|-----|
| ア すっきりしたすがすがしい気持ち | 35% |
| イ なんとも思わない | 39% |
| ウ つかれた気持ち | 26% |

(問3) あなたは、学校で何のために清掃をし
ていると思いますか。〈多肢選択〉

- | | |
|-------------------|-----|
| ア 清潔にする習慣を身につける | 90% |
| イ 協力し合って仕事をやる大切さ | 6% |
| ウ みんなで使うものを大事にする心 | 74% |
| エ 働くことの大切さを学ぶ | 51% |
| オ わからない | 16% |

(問4) あなたは、身じたくを整えて整列し、
めあてをたしかめていますか。

- | | |
|------------|-----|
| ア やっている | 15% |
| イ できない時がある | 59% |
| ウ できない | 26% |

(問5) あなたは、いっしょうけんめい、だま

って清掃ができますか。

- | | |
|------------|-----|
| ア できる | 14% |
| イ できない時もある | 73% |
| ウ できない | 13% |

(問6) あなたは、清掃用具を正しく扱い、後
しまつをきちんとしていますか。

- | | |
|------------|-----|
| ア やっている | 47% |
| イ やらない時もある | 48% |
| ウ やらない | 5% |

(問7) あなたは、清掃が終わったら、手を洗
い、うがいをしていますか。

- | | |
|------------|-----|
| ア やっている | 12% |
| イ やらない時もある | 52% |
| ウ やらない | 36% |

(問8) あなたは、自分たちの学校をきれいに
しようと思って清掃をやっていますか。

- | | |
|------------|-----|
| ア 思ってやっている | 45% |
| イ 忘れることがある | 49% |
| ウ 思わない | 6% |

以上のことや、清掃の観察などからわかったの
は、次のようなことである。

- ① 自分たちの学校をきれいにしようという意識
や意欲は低調である。
- ② 校内放送により清掃の手順を一定にすること
が、かえって役割分担だけの活動に終わらせる
結果を生むなど、マンネリ化が見られる。
- ③ 教師は、ともすると注意することや指示する
ことに偏りがちな指導をしやすく、清掃活動が
他律的になる原因をなしている。
- ④ 清掃の必要性は理解しているようであるが、
具体的な目的意識は低く、機械的に取り組んで
いる姿が多く見られる。
- ⑤ 清掃後のすがすがしい気持ちなどについては
わずかながら感じとっている。

清掃活動が単純作業であることをふまえ、連帯
感を高めるという視点で、教師も共通理解を図り
児童が清掃の目的をとらえ、班員と協力し合いな
がら自主的に清掃活動にあたっていくように援助・
指導するため、次のような観点を設定した。